

議員の飛行機 ビジネスクラスなぜ？ 2025年も 市民目線を貫く！



特集 11月議会& 海外行政調査

市議会交流事業として台湾・台南市に
計9名の議員らの派遣を決めたけど…

すがや浩平
京都市議会議員事務所

市政に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

.....

.....

.....

.....

.....

お名前	フリガナ	ご連絡先	() -
ご住所	〒		

※ ご記入いただいた個人情報は、ご連絡以外の目的では使用いたしません。

FAX	1 上記に記入し、 キリトリ線で切る	2 右記番号までFAXする	3 後日ご連絡させていただきます	FAX 075-493-6564
Email	1 QRコードを読み取るか メールアドレスを入力する	2 項目を記入し、送信する	3 後日ご返信させていただきます	Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

※ 上記の枠内にご記入のうえ、写真に撮ったものをメールに添付し送信いただいても大丈夫です。

市政と一緒に、変えませんか。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所では、市民からの陳情の対応や議会での質問に必要な政務調査活動をはじめ、議会報告のポスティングといった広報活動のサポートなど、みなさんの得意分野をいかなしながら、可能な範囲でお手伝いをお願いできるボランティアスタッフを募集しています。



▲ポスター（A2サイズ）

毎月第2土曜日に議会報告会をおこなっています。

わたし、京都市議会議員の菅谷浩平は、毎月定例の議会報告会を下記の通り開催しています。
是非ともお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。市政に関するご意見・ご要望にもお応えします。

〔日時〕 毎月第2土曜日の夕方5時～6時 〔場所〕 菅谷浩平 京都市議会議員事務所

ポスター掲示ご協力をお願い （ポスター/A2サイズ タテ594mm×ヨコ420mm）
ご自宅の外壁・窓ガラス・フェンスなどのポスター掲示を許可していただける場所を探しています。

著作権法上、本紙掲載の写真、図、文章及びデザインの無断転載、借用、複製は禁じられております。

11月議会&海外行政調査

01 京都市11月議会

「京都基本構想」案など計84議案を可決・同意！
市長や副市長、議員らのボーナス引き上げに反対

京都市11月議会が11月25日に開会し、市は松井市長や市議会議員らのボーナス(期末手当)、市職員らの給与の引き上げなどを盛り込んだ総額49億8400万円にのぼる2025年度一般会計補正予算案のほか、2026年から2050年までの25年間の新たな市政の基本方針を示した「京都基本構想」案や、中京区にある市男女共同参画センターの施設の一部を廃止する条例改正案など計65議案を市議会に提出した。

今回の補正予算案は、松井市長や副市長、市議会議員らのボーナスの引き上げと、市人事委員会勧告に基づき、市職員らの月給やボーナス(期末・勤勉手当)の引き上げなどに49億4900万円

のほか、民間からの寄付を活用した文化芸術振興のための支援の充実に3500万円が充てられる。市議会は12月11日に最終本会議を開き、2025年度一般会計補正予算案や「京都基本構想」案のほか、市人権擁護委員の推薦などの追加議案を含む、市が提出した計84議案を可決・同意して閉会した。

ちなみに、松井市長や副市長らの特別職のボーナスを引き上げる議案は、自民党、維新・京都・国民、公明党、改新京都、5名の無所属議員らの賛成で、また、市議会議員のボーナスを引き上げる議案は、自民党、公明党、4名の無所属議員らの賛成で可決したが、わたしは両議案に反対した。

02 海外行政調査

オーストリア・ウィーン市への調査団派遣を可決
ビジネスクラスを検討し直す付帯決議案は否決：

11月27日、京都市議会は本会議を開き、再生可能エネルギーの先進地であるオーストリアのウィーン市への海外行政調査団の派遣を、共産党を除く賛成多数で可決した。

今回の海外行政調査は、2026年1月25日から1月30日までの6日間、電気トラムや木質バイオマス発電のほか、木造中高層建築の実用化などの取り組みを学ぶためとして、自民党、維新・京都・国民、公明党の3会派の代表者らが市議会に提案していた。

同調査に参加するのは、自民党・維新・京都・国民、公明党の各会派から計12名の議員らと随行の市職員らで、通訳代やホテル代、航空券など総額約1409万円の

経費を見込んでおり、議員1人あたり約99万円となる。ちなみに、12名の議員らには往復で約56万円のビジネスクラス航空券が、随行の市職員らには往復で約27万円のエコノミークラスの航空券が、それぞれ手配される計画となっている。

わたしは同日の本会議で、幅広い市民理解が得られるよう、議員の航空券のビジネスクラスの妥当性を検討し直してから調査団の派遣をおこなうよう求める付帯決議案を市議会に提出したが、自民党・維新・京都・国民、共産党、公明党4名の無所属議員らの反対で否決された。同付帯決議案には、わたしのほか、改新京都と1名の無所属議員らが賛成してくれた。

市議会は交流事業として台湾・台南市に
計9名の議員らの派遣を決めたけど：

菅谷「議長らが公務として出向くので十分」と指摘
税金の使い道として透明性が低いとの声も一部に

京都市議会は11月25日に開いた本会議で、交流事業として昨年2月に台湾の台南市で開かれたランタンフェスティバルの開幕式などに計5名の議員らを派遣したのに続き、12月に同市で開かれる陶芸展の開会式などに計9名の議員らを派遣することを決めた。

今回の台南市への議員の派遣は、市議会の議会運営委員会の理事らを中心に、自民党、維新・京都・国民、共産党、公明党の各会派の議員らが、12月15日から12月17日までの3日間、同市での陶芸展の開会式に出席するほか、2018年から友好交流協定を結んでいる同市議会の議会運営や広報に関する調査することなどを目的としていたが、11月25日の時点でも、その詳細が明らかに

されていなかった。

わたしは同日の本会議で、「9名もの議員らが参加する必要性があるか甚だ疑問。議長らが公務として出向くので十分」などと討論で指摘し、台南市への議員の派遣に1人だけ反対した。なお、同派遣については、市議会が来年1月に実施する海外行政調査のような審査会などの手続きは経ておらず、税金の使い道として透明性が低いとの声も一部にあるようだ。

京都市議会議員・北区
菅谷 浩平 (39)
すがやこうへい



所属政党／なし(無所属)

※2025年3月に日本維新の会を離党

地域活動／消防団・少年補導・子ども見守り隊ほか

1986年に京都府京丹後市網野町で生まれる。京都府立網野高校、明治大学法学部を卒業後、大和証券株式会社で営業マンとして働く。2015年に28歳で京都市議選に北区から立候補し初当選。公約に掲げた議員報酬30%カットは自主的に実行中。

編集後記
Editors
note

年が明けた来年1月、市議会ではコロナ禍などで見送られていた海外行政調査が、2017年度にフィンランドとエストニアへ調査団を派遣して以来、実に8年ぶりに実施される。わたしは、その2017年度の調査団の一員でもあるため、同調査には意義があると感じている。一方で、人生で初めて乗った飛行機のビジネスクラスは、税金で負担すべきでない、このとき改めて強く感じた。そのため、今回はビジネスクラスを検討し直す付帯決議案を市議会に提出したが、賛成少数で否決された…。市民のみなさんは、この結果をどう見るか。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所

〒603-8232 京都市北区紫野東野町20-1

Tel 075-493-6564

Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp



www.sugayakohei.com



@sugayakohei



facebook.com/sugayakohei



@sugayakohei